

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学校の教育目標

◇目指す学校像 「自主」「勤勉」「協和」の校訓のもと、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育を推進し、地域の次世代を担う人財を育てる学校。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

探究の見方・考え方を働かせ、地域や世界の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、豊かな人間性を育み課題の発見と解決ができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

総合的な探究の時間の学習評価

- ワークシートを用意し、振り返り手法によって生徒が授業を振り返り自己評価する。
計画書、作成した資料、ワークシート等を評価の対象とする。

Table with 5 columns: 評価項目, レベル1, レベル2, レベル3, レベル4. Rows include '主体的に学習に取り組む態度' and '思考力・判断力・表現力'.

生徒の実態

- 地域連携や実践的な活動から、地域での本校の各種活動は認知されてきている。
各種イベント等をとおして、地域に受け入れられ、自信を持ってきている。

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

- 多様な生徒が在籍するため、様々な可能性にチャレンジできる体制づくりが必要である。
今後さらに地域等との連携を強化し、多様な課題に挑戦できるようにする。

目指す生徒の姿

- 本校でしかできないことに挑戦する。
世界を視野に地域貢献できる。
地域課題に関心を持ち、地域の団体等と連携し、生徒主体でイベント実践等ができる。

各学校が定める内容(目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力)

1 学年(全学科)「総合的な探究の時間」
地域活性化に向けた本校の特色を活かした取組
(1) 探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、人との交流のよさに気付き、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付く。

学習活動、指導方法等

学習活動
探究の過程においては、他者と協働して課題を解決しようとする等、主体的・対話的で深い学びを意識した学習活動をする。
探究の過程においては、コンピュータ(タブレット端末を含む)や情報通信ネットワーク等を適切かつ効果的に活用して、情報を収集・整理・発信する等の学習活動をする。

指導体制(環境整備、家庭・地域との連携)

- 普通科会議(随時)・・・普通科目担当者と商業科目担当で指導方法や評価観点、進捗状況等について情報を共有する。
探究コアチーム会議(週1回)・・・各学年の担当で指導方法と進捗状況等について情報を共有し、授業改善を図る。